

公表

## 児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	ワンスタット桜川		
○保護者評価実施期間	令和8年 2月 3日		令和8年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 5
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 3日		令和8年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 5日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	当事業所では、未就学児期における発達の基盤づくりを重視し、アセスメントに基づいた適切な「個別支援計画」の作成と実施に努めております。保護者様アンケートにおいても、お子様の特性に応じた専門的な支援や個別支援計画の妥当性について、高い評価をいただいております。	小規模な施設であることを活かし、マット等を用いて空間を柔軟に仕切ること、お子様が集中しやすい構造化された環境づくりを工夫しております。	今後は、お子様同士や地域との交流機会をさらに増やすため、他のこどもと一緒に活動できるイベントの開催頻度を高めてまいります。
2	日々の支援後に行うフィードバックを通じて、お子様の健康状態や発達の状況について保護者様と共通理解を持つことを徹底しており、信頼関係の構築が当事業所の大きな柱となっております。	保護者様を介した幼稚園・保育所等との情報共有に加え、当法人が実施する「保育所等訪問支援」を積極的に活用することで、集団生活の場での相互理解と支援の一貫性確保に努めております。	家族支援の面では、日々の情報共有に加え、ペアレント・トレーニング等の家族支援プログラムや、保護者様・きょうだいいも参加できる研修・イベントを順次企画し、ご家族全体のサポート体制を強化してまいります。
3		月1回のサッカーイベントなど、楽しみながら身体を動かす機会の提供も継続して行っております。	

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	安全管理に関する各種マニュアルの策定や避難訓練は実施しておりますが、保護者様への周知・説明が十分に行き届いていない現状があり、アンケートでも「周知されていない」「わからない」といった声を重く受け止めております。	土曜日や特定の曜日において、職員配置が最低限となり、現場の負担感や不安が生じるケースが見受けられます。これは、お子様の急な状態変化や欠勤等に対応する際の心理的・物理的な余裕不足に繋がっています。	事故防止や安全計画、自己評価結果等の重要事項について、SNSだけでなく、対面での説明強化や書面の配布、掲示物の工夫など、複数のルートで確実に保護者様へ伝わるよう改善いたします。
2	支援プログラムや活動概要の公表・発信についても、ホームページやSNS以外での周知方法が不足しており、情報伝達の網羅性に課題があります。	施設設備の老朽化や修繕（壁の穴、器具の交換等）についても、迅速な対応が追いついていない箇所があり、環境の質に影響を与えています。	人員配置が最低限な中でも質の高い支援を維持できるよう、支援開始前の打合せにおける役割分担（指示・補助・準備等）をより明確にし、チーム全体の機動力を向上させます。
3			施設修繕や器具の交換について優先順位を整理し、お子様が清潔で心地よく過ごせる環境を早期に整えるとともに、進捗状況の共有にも努めます。

公表

## 保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果

事業所名	フンスタット桜川					公表日	令和8年	3月	20日
			利用児童数	12	回収数	5			
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
環境・ 体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	5						
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	5						
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	4	1			運動スペースを確保しているつもりですが、来所後のルーティンなどをお知らせできるようなポップなどが用意できていない。今後、用意することも検討してまいります。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	4	1			全ての方に心地よく過ごしていただけるよう環境を見直します。		
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	5						
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	4			1	支援プログラムをホームページには挙げておりますが、周知しきれていないため、SNSなどでの周知も実施いたします。		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	4			1	個別支援計画を説明する際には、より分かりやすく説明するよう心掛けます。		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	3			2	個別支援計画の中ではそれぞれの項目を設けておりますが、個別支援計画を説明する際には、より分かりやすく説明するよう心掛けます。		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	5						
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	5						
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	2	1		3	保育所等との交流は設けられておりませんが、今後は機会を設けることができるよう努めます。		
保護者 へ	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	4			1	保護者様の待機スペースに運営規定などを設置しているため、支援プログラムなども踏まえてより周知できるよう努めます。		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	4			1	個別支援計画を作成した際に説明しておりますが、より分かりやすく説明できるように心掛けます。		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3			2	ペアレントトレーニング等は実施できておりませんが、今後のイベントで実施できるよう努めます。		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	5						
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	4			1	日々の支援後のフィードバックでお伝えさせていただいておりますので、今後は保護者向けイベントなども実施できるよう努めます。		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	5						

の 説 明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	1	1	2	直接的な保護者様同士の交流会などは設けられておりませんが、日々のご利用される時間では、保護者様同士の交流が図れることも考慮しております。今後は、保護者向けやきょうだい向けイベントなども実施できるよう努めます。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	3			2	個別に対応させていただいておりますが、対応したことは周知はできておりませんが、今後は、個別で設けていることも周知し直してまいります。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思えますか。	4	1			より分かりやすい説明ができるよう心がけます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	3			2	行事や自己評価結果などはホームページ・SNSなどで発信しております。周知しきれていないため、他の方法も検討いたします。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思えますか。	5				
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	1	1		3	訓練等はイベントなどを踏まえて実施しておりますが、周知しきれていないため、周知方法を検討いたします。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	1			4	訓練等はイベントなどを踏まえて実施しておりますが、周知しきれていないため、周知方法を検討いたします。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思えますか。	3	1		1	安全を確保した上で支援・指導させていただいているため、周知し直すことと、安全を確保できているかを見直してまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思えますか。	3	1		1	自己などが発生した場合には、経緯や状況を説明しておりますが、事前に流れなどを説明できていないため、周知できる方法を検討いたします。
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	5				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	4	1			お子さまに通所を楽しみにしていただける工夫をしております。
	29	事業所の支援に満足していますか。	5				いつもありがとうございます。ごちこそありがとうございます。今後もお子さまにとって最善のサポートをできるように努めて参りますので、引き続きよろしくお願いたします。

公表	児童発達支援事業所における自己評価結果
----	---------------------

事業所名	ワンスタット桜川	公表日	令和8年 3月 20日
------	----------	-----	-------------

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	1		土曜日は心配な時もある。絶対に体調を崩せないとなる気持ち。曜日によっては不安な日もある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1		器具の交換が必要。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5			かべの穴を直さないとぼろぼろに見える。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		別室はないが、マットを使用し空間を分ける準備をしている。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	1		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5			
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5			

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5			指示を出す人、補助を行う人、物を準備する人、をもっと役割分担できたらより良い！
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5			数名
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5			数名 保護者様を介して図っております。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	1		
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもも活動する機会があるか。	4	1		月に1回サッカーのイベントで。	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5				
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5				
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5				
	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5				

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	1		
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	2		行事に地域住民の招待ができていない。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5			